

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年2月27日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	情報コミュニケーション学部
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2024年2月27日
明治大学卒業予定年月	2024年3月
留学先大学について	
留学先国	オーストリア
留学先大学	クーフシュタイン・チロル応用科学(日本語名) Fachhochschule Kufstein Tirol University of Applied Sciences (現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語/英語
留学期間	2023年10月～2024年2月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:  <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 10 月～2 月 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	2200
創立年	1997

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	2500	400000 円	学生寮
食費	1500	240000 円	外食含む
図書費	0	0 円	
学用品費	50	8000 円	
携帯・インターネット費	45	7200 円	
現地交通費	100	16000 円	( <input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1000	160000 円	旅行費用
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費		60730 円	形態: 大学規定のもの
渡航旅費	1300	210000 円	航空券・学期前後の移動や宿泊
ビザ申請費	0	0 円	
雑費	150	24000 円	生活用品など
その他		円	
その他		円	
合計		1125930 円	

※ 数字は半角で入力してください。例)520,000

## 渡航関連

<b>渡航経路</b>
<b>往路 出発地:</b> 成田 <b>目的地:</b> ウィーン <b>経由地:</b> 台湾 <b>復路 出発地:</b> ウィーン <b>目的地:</b> 成田 <b>経由地:</b> 台湾
<b>渡航費用</b>
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:エバー航空  料金:181000 円  ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:            料金:  復路 航空会社:            料金:                            ∴合計:
<b>航空券購入方法</b>
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:        ) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:エバー航空) <input type="checkbox"/> その他(        )
<b>滞在形態関連</b>
<b>1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)</b>
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:International Student Residence) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
<b>2) 部屋の形態</b>
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
<b>3) 共有部分</b>
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
<b>4) 住居を探した方法:</b>
留学先大学からの案内
<b>5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)</b>
光熱費込み、ベッド用具やカトラリーを有料で借りられるが周辺の店で買えるため必要なし

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: )

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の海外安全情報で収集したが、治安面での不安はあまりなかった

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

基本的に問題ないが、ドイツ方面に行く際は接続が不安定になる

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にクレジットカードで十分だが、普通のは両替手数料が高い為海外旅行用のカードを作ることをおすすめする。現金はATMから引き出し可能。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

シャンプーブラシ、耳かき、だし、カレーのルー、そばなどの乾麺、菓子類

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業学年は単位申請不可)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他(   ) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 7 から 10 個の授業が取得可能	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
German Language (Group A beginner level)	ドイツ語(グループ A 初心者レベル)
科目設置学部・研究科	International Program
履修期間	10/2-1/29
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	明治大学の語学と同じ(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 1 回
担当教授	Angelika Fuchs
授業内容	ドイツ語の基礎
試験・課題等	隔週でテストがある
感想を自由記入	文法に関しては詳しく教えず、使用例や動画などをベースに日常の会話で使えることを目的としていた為、文法などは日本で本を買ってきて勉強するとい

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Supply Chain Management	供給網管理
科目設置学部・研究科	International Program
履修期間	12/13-2/7
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ハイブリッド(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に   分が   回
担当教授	Michael Petke
授業内容	輸送や貿易取引、倉庫管理の用語と方法を学ぶ
試験・課題等	用語の意味と活用例を調べ、プレゼンテーションを行う

感想を自由記入	学ぶ用語としてはかなりの量がありちゃんとした理解は難しいが、課題自体は難しくない。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)	
Austrian Culture and History	オーストリアの文化と歴史	
科目設置学部・研究科	International Program	
履修期間	10/7-11/18	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	フィールドワーク(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 分が 回	
担当教授	Michael Rainer	
授業内容	オーストリアの各地を訪れ、文化と歴史を学ぶ	
試験・課題等	ペーパーテスト	
感想を自由記入	クーフシュタイン要塞、インスブルック、ザルツブルクを訪れ歴史的建造物を見学する授業。交通費 60 ユーロ程度が必要。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)	
Digital Media and the WEB	デジタルメディアとウェブ	
科目設置学部・研究科	International Program	
履修期間	10/12-2/5	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1週間に 分が 回	
担当教授	Döller Mario	
授業内容	デジタルな画像や動画、文字に関連する知識を学ぶ	
試験・課題等	Webの技術を使った作品とレポートを作り、発表する	
感想を自由記入	ITに詳しくない学生には内容理解も課題も難しい	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Information System Management	情報システム管理
科目設置学部・研究科	International Program
履修期間	11/22-2/19
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、実習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Claudia van der VorstとMartin Schafferer
授業内容	前半ではコンピューターの歴史、企業の構造、データベースについて学び、後半は時計の組み立てラインの実習を行う
試験・課題等	知識や実習内容についてのプレゼンテーション
感想を自由記入	前半と後半で内容が大きく異なるが、ITシステムの利用という点では一致している。組み立てラインは構内にある施設を使い、本格的なものになっている

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Rapid Product Development	高速製品開発
科目設置学部・研究科	International Program
履修期間	1/24-2/15
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、実習(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Christian Schmid
授業内容	3D プリンターやレーザーカッターを使い製品のプロトタイピング方法を学ぶ
試験・課題等	製品のプレゼンテーション
感想を自由記入	学校にある機器を使い、部品を組み合わせて製品を作る授業。部品はモーターやタイヤ、コントローラーなど。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Brand Management, Commercials & Valuation	商標管理、広告と評価
科目設置学部・研究科	International Program
履修期間	10/25-2/3
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Sorrentino Giuseppe
授業内容	ブランドの持つ意味や効果について分析し、強いブランドを作るにはどうすべきかを学ぶ
試験・課題等	プレゼンテーション
感想を自由記入	ブランドの持つ価値を数値化しているデータベースなどを用いて比較を行い、その特徴を見つける

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	
試験・課題等	
感想を自由記入	

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職   進学   未定   その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

最終学年での留学となったため、就職活動は春学期中に終わらせる必要があった。しかしそれさえしてしまえば通常と同じように留学が可能である。内定後の対面で行われるイベントも、留学予定であることを伝えておいたためリモートでの参加が行えた。ほとんどの企業がそのような対応を行ってくれたと思う。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	ビザ・航空券などについて調べる
	4月～7月	航空券予約
	8月～9月	寮費払込、履修登録、荷物整理
	10月～12月	留学開始、文系の授業が主に開講される
留学/帰国年	1月～3月	留学終了、IT系の授業が主に開講される
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	



## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由としては、IT 系の授業が開講しているためである。他大学でももちろんそのような所はあり、主にアメリカの大学がそうなのだが、志望者が多く落選してしまったため二次選考でここに応募した。Fachhochschule というのは大学よりも専門学校に近い学校であり、学部の数や学生数としても大学より規模が小さい。この FH Kufstein では主にマーケティング・ビジネスと IT 関連の授業が開講され、校舎は 4 階建て 3 棟で構成されている。またそのうちの 1 棟は併設された高校である。クーフシュタインの街は小規模で、要塞・スポーツアリーナを除けば見るものといえば自然ぐらいしかない。しかし日々の授業や課題、バーやレストランなどを巡ったり、豊富にあるハイキングコースを散策することができるため退屈ではない。また駅の利便性も高く、Westbahn やドイツ鉄道の乗り入れもあるので各方面に行きやすい。しかし空港からは遠いため、飛行機での旅行は行にくい。

授業は日本のように毎週決まった時間にあるのではなく、1 つの科目につき 5-6 個の 4 時間程度の授業が不定期に入っている。授業自体の難易度は高い。ただテストやプレゼンテーションを通過するだけならばそこまで難しくはない。一番重要なのは英語でのコミュニケーション能力で、これがなければ授業も私生活も苦しいものになる。